

昭和 23 年 (1948)

どんな年？	・年明け早々、凶悪事件が相次ぐ。犯罪件数は史上最悪を記録世の中は殺伐としていて、他人のものをかっぱらったり、弱いものを踏みつけて生きるという風潮が根強くはびこっていた。 ・しかし人々は暮らしの立て直しに全力を注ぎ、そのかいあってか、どん底日本に薄日がさしてきた。女性の装い、祭りや催しの復活、子供たちの表情……。暗黒に埋没する流れと、そこから脱却しようとする流れが、せめぎあう年。
主な出来事	・帝銀事件。青酸カリを飲ませ12人死亡。容疑者平沢氏は無実を主張し、死刑囚のまま約 40 年後に獄死 (95 歳) ・東条英機ら7人絞首刑執行。 ・2 月片山内閣総辞職 3 月芦田連立内閣成立 10 月芦田内閣総辞職(昭和電工事件) 第2次吉田内閣成立 ・福井地震(M7.1 3769 人死亡) ・「太宰治」愛人と情死。 ・皇居一般参賀 23 年ぶりに復活。
世相・流行	斜陽族 鉄のカーテン サンマertime(サマータイム) 赤い羽根
話題の本	斜陽 愛情は降る星のごとく 凱旋門 新書太閤記 罪と罰 女の一生 親鸞 若きヴェルテルの悩み 人間失格 ビルマの豎琴
人気映画	酔いどれ天使 夜の女たち わが生涯の輝ける日 破戒 王将
はやり歌	湯の町エレジー 憧れのハワイ航路 異国の丘 東京ブギウギ 君待てども 星の流れに フランチェスカの鐘 長崎のザボン売り
賃金	国家公務員上級職 4863 円 小学校教員 2000 円 巡査 1800 円
物価	たばこ(ゴールデンバット) 11 円、新聞購読月 44 円 75 銭 映画封切館 40 円 コーヒー 20 円 米 10 キロ 222 円 90 銭
来る人	舛添要一 鳩山邦夫 鈴木宗男 井上陽水 谷村新司 桂文珍 ビートたけし 五木ひろし 沢田研二 都はるみ 江夏豊 毛利衛
往く人	ガンジー (78 歳) 菊池寛 (59 歳) 美濃部達吉 (76 歳) 太宰治 (40 歳) ベーブ・ルース (53 歳)

・1946 年に開廷した東京裁判は 2 年半の審理を経てこの年判決を迎えた。
A 級戦犯 25 人全員が有罪(絞首刑 7、終身禁固 16、有期刑 2)。
天皇は戦争責任を問われずに終わった。
この「勝者の裁き」がその後さまざまな議論を呼び、今なお尾を引く。

裁かれた戦犯、残された戦争責任。



12月23日午前0時1分、東条英樹元首相ら7戦犯の絞首刑が巣鴨拘置所で執行された。11月12日の判決からわずかふた月しか経過していない迅速さであった。